

5 かながわ新総合計画21の3年間の取組み状況

・ 1997～1999年度までの進捗状況（1999年6月時点、予算化は1999年度2月現計予算まで）

○計画全体の予算化率 54%（計画額12兆4,000億円に対して6兆7,557億円を予算化）

区分	予算化率	着手率	進捗率	算出の根拠
主要施策	57%	94%	51%	予算化率…計画額 6兆9,700億円に対して、3兆9,533億円を予算化 着手率…構成事業1,009本のうち、949本に着手 （主要施策310本は全て着手） 進捗率…構成事業の事業目標に対する進捗状況で、構成事業1,009本の平均値
重点プロジェクト	47%	96%	50%	予算化率…計画額4,700億円に対して、2,233億円を予算化 着手率…構成事業238本のうち、229本に着手 進捗率…構成事業の事業目標に対する進捗状況で、構成事業238本の平均値
地域プロジェクト	—	91%	—	着手率…構成事業282本のうち、256本に着手

（注）主要施策欄の予算化率は、政策的事業（主要施策＋関連施策）の予算化率です。

（政策分野別進捗状況）

大柱	着手率	予算化率	進捗率
I 健やかな福祉社会をめざして	94.6%	55%	51.0%
II 彩り豊かな生活をめざして	97.6	57	55.3
III 環境との共生をめざして	96.8	48	59.0
IV 安全で魅力ある都市をめざして	89.8	57	49.1
V 活力ある地域経済をめざして	97.0	58	48.1
VI 平和な地球市民社会をめざして	100.0	56	59.9
VII 共に生きる参加型社会をめざして	94.4	53	53.1
計	94.1	57	51.4

（地区別地域プロジェクト着手状況）

地区	地域プロジェクト名	着手率
川崎	「創造拠点都市川崎」の推進	94.7%
横浜	みどり豊かな国際文化都市づくり	100.0
横須賀三浦	公園文化交流半島「うるおい・にぎわい」づくり	97.8
津久井	自然と共生する「津久井文化」交流都市構想	72.4
県央	さがみ環境交流都市構想	100.0
湘南	湘南・生活と文化のまちづくり構想	100.0
足柄上	酒匂川流域快適環境都市構想	63.6
西湘	西湘・きらめき観光文化都市構想	91.3
	計	90.8

（注）計画上着手時期が到来していない事業についても、未着手として整理しています。

■重点プロジェクト

5つの県土構想と 8つの重点プロジェクト	97～99年度の主な取組み状況
<p>1 京浜臨海部再編整備構想 (1)京浜臨海部の産業再活性化 (2)京浜臨海部の再生に向けたまちづくり</p>	<p>(1)横浜市鶴見区末広町地区における産学共同研究センター^{※1}の施設整備に対する支援等や、川崎市川崎区浮島地区における拠点施設整備に向けた取組み、土地利用転換の推進などを進めました。 (2)京浜臨海部の再活性化等を担う広域的な交通基盤として、東海道貨物支線貨客併用化の実現に向けた検討を行いました。</p>
<p>2 県央・湘南都市圏整備構想 (3)環境共生モデル都市の形成</p>	<p>(3)東海道新幹線新駅誘致地区の一本化を図り、誘致活動を強化しました。また、県民参加を行いながら、「環境と共生する都市づくり基本計画（都市圏整備基本方針・都市づくり誘導指針・ツインシティ基本計画）」を策定しました。</p>
<p>3 県西地域活性化構想 (4)富士箱根伊豆交流圏整備による県西の活性化</p>	<p>(4)山梨・静岡・神奈川の三県により富士箱根伊豆交流圏構想を策定し、県域を越えた取組みを進めるとともに、交流圏の玄関口としての広域交流拠点（小田原駅周辺地区）の整備促進等により県西地域の活性化を進めました。</p>
<p>4 水源地域総合保全整備構想 (5)21世紀森のダムづくり (6)多様な生物を育む自然環境の保全 (7)水源地域の活性化</p>	<p>(5)私有林への公的管理・支援、水源かん養機能の高い森林づくりや水質保全対策など、良質で安定的な水資源の確保に努めました。また、モデル水源林の整備と県民参加の拠点としてやどりき水源林を確保しました。 (6)丹沢大山保全計画の策定やブナ林等の植生回復、自然環境保全地域の新規指定など、野生動植物の生息・生育環境の回復に努めました。 (7)広域交流拠点として、宮ヶ瀬やまなみセンター及び相模湖交流センターを整備するとともに、モデル地区7か所において交流の里づくりを進めました。</p>
<p>5 都市緑化ベルト整備構想 (8)都市のみどりの創造と保全</p>	<p>(8)「3つの『みどりの強化域』整備計画」の策定や緑地保全地区等の指定、ナショナル・トラスト運動^{※2}の推進などにより、みどりの創造と保全に取り組みました。また、津久井湖城山公園を一部開園しました。</p>

^{※1}共同研究センター：大学、企業などの産学連携活動の促進を図るため、環境、エネルギーをはじめ、「都市社会技術」（都市生活を支える科学・産業技術）に関する共同研究、共同実験の場として活用する施設。

^{※2}ナショナル・トラスト運動：貴重な自然や歴史的環境を保存するために、広く国民から寄付金を集め、土地や建物を買い取り、保存・管理・公開する運動。

8つの重点政策課題と 19の重点プロジェクト	97～99年度の主な取組み状況
<p>1 福祉社会の基盤づくり</p> <p>(1) 地域ケアのしくみづくり</p> <p>(2) 保健・医療・福祉の人材づくり</p> <p>(3) 福祉のまちづくり</p>	<p>(1) 在宅サービス提供拠点としてケアセンターや市町村保健センターの整備促進を図るほか、相談・利用支援体制の充実のために在宅介護支援センターの設置促進等に取り組みました。</p> <p>(2) 県立保健医療福祉大学（仮称）の整備に向けて基本構想及び整備計画を策定したほか、ホームヘルパー養成研修等に取り組みました。</p> <p>(3) バリアフリー^{※3}住宅展示場「かながわ夢モデルタウン」の運営や段差のない歩道等の整備などに取り組みました。</p>
<p>2 いきいき県民ライフの環境づくり</p> <p>(4) 芸術・文化創造活動のための環境づくり</p> <p>(5) かながわ・ゆめ国体の開催と生涯スポーツ振興</p> <p>(6) ボランティア活動推進のしくみづくり</p>	<p>(4) 神奈川芸術フェスティバルを充実するとともに、作曲委嘱助成プログラム等のコンクール等を実施しました。また、県立文化施設再編整備の調査や近代美術館新館の整備に取り組みました。</p> <p>(5) かながわスポーツボランティアバンクやかながわ・ゆめ国体募金を推進しながら、第53回国体「かながわ・ゆめ国体」、第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」を実施しました。</p> <p>(6) 県民活動サポートセンターの充実や、応急危険度判定士など災害救援ボランティアの人材育成などに努めました。</p>
<p>3 未来を拓く人づくり</p> <p>(7) 子育て支援の環境づくり</p> <p>(8) 生きる力を育む教育の環境づくり</p> <p>(9) 青少年国際体験活動の支援</p>	<p>(7) 「かながわ子ども未来計画」を着実に推進するとともに、子育てをする家庭に対する支援のしくみや制度の充実を図りました。</p> <p>(8) スクールカウンセラーを派遣するなど、いじめ対策や不登校対策の充実にも努めました。また、県立高校改革推進計画を策定し、特色ある高校づくりや魅力ある専門高校づくりを進めました。</p> <p>(9) 青少年や高校生による海外派遣（訪問）事業を行うとともに、青年国際体験活動や海外留学・研修等を支援しました。</p>
<p>4 環境共生・循環型都市づくり</p> <p>(10) 廃棄物リサイクルシステムの形成</p> <p>(11) クリーンエネルギーを活用したまちづくり</p>	<p>(10) 環境にやさしい暮らし県民運動の展開と容器包装等のリサイクルを促進するとともに、公共関与による産業廃棄物中間処理・リサイクル施設の整備や「神奈川県ごみ処理広域化計画」の推進を図りました。</p> <p>(11) 都市公園施設や道路施設などに太陽光発電を利用した照明施設などの設置を進めるとともに、市町村・民間への導入促進のための調査・検討やイベントの開催など、普及啓発に努めました。</p>

※3バリアフリー：住宅や都市施設などを高齢者や障害者に使いやすいものにする。物理的（建築的）な障害だけでなく、心理的、社会的な障害や情報手段の制約も含まれる。

8つの重点政策課題と 19の重点プロジェクト	97～99年度の主な取組み状況
<p>5 新たなニーズと人をつなぐ産業基盤づくり</p> <p>(12)新たな技術革新のしくみづくり</p> <p>(13)新たな職業能力開発のしくみづくり</p> <p>(14)生活を豊かにする産業の創出促進</p>	<p>(12)大学、試験研究機関の研究成果の実用化を促進するため、コーディネーターを配置し実用化可能性調査等を行ったほか、企業等への技術支援や科学技術人材のデータベースの整備・活用を進めました。</p> <p>(13)中小企業人材育成支援システムの稼働により企業が行う人材育成を支援するとともに、オーダー型の在職者訓練を実施しました。</p> <p>(14)かながわ生活産業実験工房の設立やかながわベンチャークラブの創設など、新たな企業化への支援を行いました。</p>
<p>6 地域高度情報化の基盤づくり</p> <p>(15)くらしと産業を支える情報ネットワークの構築</p>	<p>(15)生涯学習情報システム^{※4}など県民の生活や活動を支援する様々な公共的アプリケーション^{※5}を整備するとともに、CATV^{※6}網を活用した次世代情報通信基盤の整備・促進に努めました。</p>
<p>7 共生社会に向けての環境づくり</p> <p>(16)女性の社会参画の促進</p> <p>(17)外国籍県民の地域参加の促進</p> <p>(18)障害者の社会参加の促進</p>	<p>(16)雇用平等推進プログラムやセクシュアル・ハラスメント防止対策啓発資料を作成し、普及啓発に努めました。また、女性のエンパワーメント^{※7}への支援にも取り組みました。</p> <p>(17)外国籍県民かながわ会議とNGOかながわ国際協力会議の設置や、通訳バンクシステムの開設等により参加を促進しました。県職員への採用機会も97職種中83に拡大しました。</p> <p>(18)障害者地域作業所の整備促進を行うとともに、障害者の自立生活支援のため、神奈川県障害者自立生活支援センターに対する支援を行いました。</p>
<p>8 地震災害に強い都市づくり</p> <p>(19)緊急地震防災対策</p>	<p>(19)災害活動拠点の耐震化や衛星電話等の防災情報システムの整備を進めるとともに、市町村地震防災対策に対する緊急支援等に取り組みました。</p>

※4 生涯学習情報システム：インターネットを利用し、自宅や職場から24時間いつでもアクセスできるように、県内の生涯学習に関する最新の情報を総合的に収集・提供するシステムのこと。(愛称：PLANETかながわ)

※5 公共的アプリケーション：県民生活向上に役立つ情報提供などができるコンピュータシステム。

※6 CATV：ケーブルを使って各家庭などにテレビ放送や自主放送などを配信する有線テレビのことで、最近では、インターネットサービスなどの通信用としても利用されている。

※7 エンパワーメント：自らの能力を開発し、新しい社会づくりの主体としての力をつけること。

■地域プロジェクト

8つの地域プロジェクト	97～99年度の主な取り組み状況
1 川崎地区 「創造拠点都市かわさき」の推進	産業再活性化のための臨海部拠点の整備や、芸術のまち構想の推進などに取り組みました。また、エコミュージアム構想の推進、エコ・たまがわ博覧会の共催、恩廻公園調節池の整備など水とみどりのうるおいのあるまちづくりを進めました。
2 横浜地区 みどり豊かな国際文化都市づくり	県民活動サポートセンターの充実を図るとともに、地球市民かながわプラザなどを開設しました。また、保土ヶ谷公園の再整備や大岡川等の散策路の整備等を行い、うるおいのあるみどり豊かなまちづくりを進めました。
3 横須賀三浦地区 公園文化交流半島「うるおい・にぎわい」づくり	三浦半島国営公園（仮称）の誘致活動を進めたほか、はやま三ヶ岡山緑地の開園、鎌倉中央公園の一部開園、横須賀市臨海公園や三浦市宮川公園の整備などが進むとともに、横須賀リサーチパークなどの国際交流、研究開発拠点の整備が進みました。
4 津久井地区 自然と共生する「津久井文化」交流都市構想	環境共生型産業促進の研究やモデル事業を進めるなど、地域活力の源づくりに取り組みました。また、交流のネットワークの拠点となる相模湖交流センターを整備しました。津久井湖城山公園も一部開園しました。
5 県央地区 さがみ環境交流都市構想	人と水・みどりのネットワーク計画や相模線沿線魅力アップ推進計画を策定・推進するとともに、魅力ある街並みや施設の整備を行いました。また、宮ヶ瀬やまなみセンターを整備するなど地域の特性を生かした産業の振興を進めました。
6 湘南地区 湘南・生活と文化のまちづくり構想	海とみどりのネットワークづくりに向けて推進プログラムを作成するとともに、湘南マルチメディアタウン構想として企業化支援などのモデル事業にも取り組みました。また、秦野戸川公園を一部開園するとともに、茅ヶ崎北部丘陵公園の整備を行いました。
7 足柄上地区 酒匂川流域快適環境都市構想	「あしがり郷」整備計画を策定し田園のふるさとづくりに取り組むとともに、巖島湿生公園や酒匂川町民親水広場、水と民話にふれあうみちの整備等の水辺のふるさとづくり等、豊かな森と水と田園のある快適環境生活都市・足柄の実現を図りました。
8 西湘地区 西湘・きらめき観光文化都市構想	湯河原ゆかりの美術館やスパウザ小田原のオープンなど、みどりと歴史の回遊拠点づくりを進めました。また、小田原駅周辺整備などの魅力ある中心市街地づくりなどに取り組みました。